

平成30年度
社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会
事業報告書



泉大津市社会福祉協議会イメージキャラクター

ハートちゃん

社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会

平成30年度 社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会事業報告

平成30年度は、大阪府北部地震をはじめ、西日本豪雨、台風21号など、各地で大きな災害が発生しました。なかでも台風21号の通過によって本市においても多くの家屋で屋根瓦や壁が破損する等の被害が発生したことから、市と協議し、社協災害ボランティアセンターを立ち上げ、ボランティア連絡会をはじめ多くのボランティアの協力を得ながら災害支援にあたりました。この度の災害を通じ、日頃からの地域のつながりの大切さを実感するとともに、地区福祉委員会活動や小地域ネットワーク活動などの地域に根ざした活動の大切さや各種関係団体等との連携の必要性を改めて認識しました。

また、本協議会では「第3次泉大津市地域福祉活動計画」（平成30年度から令和5年度までの6か年計画）の基本理念である「8万人の家族の絆～ぬくもりの手と手をつなぎ 共に支えあえる社会～」のもと、だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくりをめざして、平成30年度の重点目標である「福祉教育の推進・ボランティア活動の充実」「小地域ネットワークの発展強化」「地域のつながりの再構築」「防災に向けた日頃の備え、救援・支援体制づくり」「地域包括ケアシステムの構築」を軸に各種事業に取り組むとともに、住民参加を基調とした福祉活動を推進してまいりました。

詳細については、以下のとおりです。

＜重点目標の取組事項＞ ～各重点目標は活動計画の一部を引用～

1. 福祉教育の推進・ボランティア活動の充実

福祉に関する教育・啓発に積極的に取り組み、住民一人ひとりが、地域や福祉を身近に感じ、地域の課題を自分たちの課題として受け止め、実際の地域活動・ボランティア活動につながるよう、福祉の意識づくりに取り組みました。

(1) 夏休みボランティア活動体験学習会

ボランティア活動につながるきっかけづくりとして、幼稚園児・小学生・中学生を対象に障がいの理解とともにボランティア活動を体験する機会の提供



(内 容)

点字体験「絵本を作ってみよう」	「お手玉」を作ってみよう	紙芝居を作ろう
「ハートちゃん」を作ってみよう	朗読を体験してみよう	手話を体験してみよう
車いす操作とアイマスク体験	筆記通訳を体験してみよう	

(参加人数) 59人(延人数88人)

(2) ボランティアサロン

ボランティア活動中の人、これから活動してみたい人、少し興味のある人、ボランティアの応援が欲しい人等が気軽に参加できる場をボランティア連絡会の協力で実施

① ボランティアサロン「ハートちゃん」

- ・実施日 毎月1回 第4火曜日 午後1時30分～3時30分
- ・場 所 総合福祉センター4階 ボランティアルーム
- ・内 容 茶話会、登録ボランティアグループの活動紹介、サロン内での催し(紙芝居ボランティア「みずすまし」紙芝居上演、モフ草履づくり、祝い鶴づくりなど)
- ・実施回数 12回
- ・参加啓発人数 412人
- ・相談件数 4件
- ・登録人数 2人

② ボランティアサロン(ふれあい風街)

- ・実施日 毎月1回 第3水曜日 午前10時～正午
- ・場 所 中央商店街 風街
- ・実施回数 11回
- ・参加啓発人数 78人

2. 小地域ネットワークの発展強化

小地域ネットワーク活動の普及・啓発など、地域の関係団体の活動と連携して充実・強化に努めるとともに、各地域の活動拠点づくりと意見・情報共有の仕組みづくり（小地域ネットワーク活動地区推進会）に取り組みました。

(1) 小地域ネットワーク活動地区推進会

①小地域ネットワーク活動楠地区推進会（4回開催）

（協議内容抜粋）

- ・ 第4次泉大津市地域福祉計画・第3次泉大津市地域福祉活動計画に基づく事業展開
- ・ お買い物情報シートの推進
- ・ 楠地区防災マップ（仮称）の作成

②小地域ネットワーク活動浜地区推進会（7回開催）

（協議内容抜粋）

- ・ 第4次泉大津市地域福祉計画・第3次泉大津市地域福祉活動計画に基づく事業展開
- ・ 事例検討「普段の気づきと専門職との連携について」
- ・ 消防庁舎見学及び救命救急講座の開催
- ・ 高齢者施設の勉強会の実施
- ・ 鍵預かり事業の推進
- ・ 献血の取組



(2) 小地域ネットワーク活動地区推進会設置に向けた取組

①4団体合同会議（宇多4回、旭6回、上条3回開催）

- ・ 自治会、民生委員児童委員協議会、地区福祉委員会、老人クラブと地区ごとに地域福祉の推進など情報を共有し、小地域ネットワーク活動地区推進会の設置に向けて協議を進めた

②準備委員会（穴師4回開催）

- ・ 自治会、民生委員児童委員協議会、地区福祉委員会、老人クラブ、婦人会、子ども会、自主防災組織、防犯委員会、穴師小学校と情報を共有しながら地域福祉の推進、地域情報整理などを小地域ネットワーク活動地区推進会設置に向けて協議を進めた



3. 地域のつながりの再構築

孤立死の防止やひきこもりの防止、災害時における円滑な助け合いにつなげるため、近所づきあいの促進、地域との顔の見えるつながりの再構築を各種団体と連携しながら進めていきました。

(1) ふれあい喫茶

地域で暮らす人たちが集い、交流することができる場として実施

宇多（地区全体）	11回	491人
旭（地区全体）	12回	897人
穴師（東豊中）	9回	198人
浜（松ノ浜、なぎさ2番）	15回	908人
風 街	95回	1,407人
合 計	142回	3,901人



(2) 買い物支援事業

買い物が困難な地域を巡回し、身近な地域で買い物ができるよう民間事業者（コープお買い物便）と連携した移動販売を展開

○ 駐車場所

- ・ 毎週水曜日一助松湯跡、和泉乳児院前、宇多之庄佐藤宅前、要池住宅集会所前
(実施回数) 50回 (参加者数) 1,612人

- ・ 毎週金曜日一なぎさ住宅集会所前、河原町市営住宅集会所前、河原町1号公園前、戎小学校横、清水町自治会館前
(実施回数) 51回 (参加者数) 2,994人

※清水町自治会館では、販売日に合わせて「熱中症講座」を開催



4. 防災に向けた日頃の備え、救援・支援体制づくり

災害等に備え、高齢者や障がい者、子どもなどすべての住民の生活の安全と安心を確保できるような講習会や災害時要援護者の把握及び支援体制の確立に取り組みました。

(1) 災害時体制の整備

災害発生時の社協職員参集基準等を含めた職員等のマニュアル及び災害救援マニュアルの作成、地域向けに防災意識をもっていただくための講習会、被災地への職員派遣を実施

① 大阪北部地震及び西日本豪雨災害 被災地への職員派遣

高槻市災害ボランティアセンター 6月23日、25日 各1人

枚方市災害ボランティアセンター 6月29日、30日、7月1日、2日 各1人

茨木市災害ボランティアセンター 7月 8日 1人（警報発令により中止）

倉敷市災害ボランティアセンター 8月27日～31日 1人

② 地域のネットワークづくりに向けた防災の講習会の検討会議

会議回数 3回（5/22、6/18、3/5）

③ 台風21号災害支援

泉大津市災害ボランティアセンター 9月7日～17日

（新規受付ニーズ）58件、（活動数）27件、（情報提供等による終結）13件、

（終了数）40件



5. 地域包括ケアシステムの構築

地域包括ケアシステムの構築を目指し、市と連携して医療・介護の多職種協働、さらには地域の関係団体などと連携しながら、認知症になっても住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせるよう必要な人に必要なサービスが適切に提供できるよう事業を展開しました。

(1) 生活支援コーディネーター

①生活支援隊家事エンジャー（訪問型サービスA従業者）養成研修会の実施

介護予防・生活支援サービス事業において、緩和された基準で掃除・調理などの生活支援サービスに従事するための資格を取得する研修会を開催

6月18日（月）・19日（火）	14人
12月17日（月）・18日（火）	18人
2月21日（木）・28日（木）・3月7日（木）	17人
修了者合計	49人



② 資源開発

・高齢者おでかけ集～専門職版～（社会資源マップ）作成と配布

ケアマネジャーや医療関係者等の医療介護の専門職をターゲットにした、介護予防活動の資源集を作成し、泉大津市介護支援専門員連絡協議会、市内委託先居宅介護事業所、泉大津市医師会、泉大津薬剤師会へ配布

・市内外の社会資源の情報収集と視察

地域の不足しているサービス・支援を把握し、視察や情報交換会を開催

市内：観音堂（居場所づくり）、生福寺（居場所づくり・介護予防体操）の視察

市外：NPO法人 SEIN（居場所づくり・野菜の販売・食堂）、あーね号（移動販売）、森之宮病院と UR・行政等の取り組み（スマートエイジングシティ）の視察、UR と情報交換

(2) ステップアップスクール社協（通所型サービスA（緩和型））

介護予防・日常生活支援総合事業において、介護予防体操や運動を行うことにより、介護状態の重度化を防止し、利用期間終了後に地域で活動できるように支援を実施

（延利用者数）468人

（利用状況）新規利用者26人 利用終了者9人

※うち77.7%が地域の自主サークルに移行

（支援会議）セラピストと毎月4回（年間48回）

